

三遠南信応援誌「とう」創刊10周年記念発行
 2013年12月10日発売
 本体5,000円+税 197×225mm 216頁

春夏秋冬叢書

春夏秋冬叢書
 441-8011 愛知県豊橋市菰口町1-43
 Tel:0532-33-0086 Fax:0532-32-7134
 E-mail:souju@h-n-a-f.com http://www.h-n-a-f.com

山本宏務 写真集 晴れの日と 常の日と



村々を撮り続けて四十年。
 ここには、村人の春夏秋冬、喜怒哀楽がある。
 そこには、ゆったりとした時間が流れている。

モノクロ写真時代の人々

島に生きる人々

漁業に携わる人々

農業を中心に

豊川人

とよがわびと

風景と暮らし

祭人

まつりびと

奥三河

奥三河人

おくみかわびと

源人

みなもとびと

島人

しまびと

海人

うみびと

申 込 書	東三河&西遠・西三河・南信応援誌「とう」創刊10周年記念発行 山本宏務写真集「晴れの日と常の日と」 を 冊 申し込みます。		FAX、お電話、HPにてご注文いただけます。 FAX 0532-32-7134 電話 0532-33-0086 HP http://www.h-n-a-f.com
	お名前		定価 5,000円(5,000円+税) ※送料(1冊250円)・振込手数料はご負担願います。 商品到着後、1週間以内にお振込お願いいたします。
	ご住所	〒	お電話 ()



山本宏務 写真集

晴れの日と 常の日と

山本宏務の写真には「ゆったりした時間」が流れている。

稲の刈り入れの終わった千枚田の一部が、逆光で写し出されている。先祖代々、ここに住んでいる人々の手によって、一つずつ組み立てていった石垣が三段見えているが、それが陽に翳っている。水田には、水は一滴もなく、乾ききって、晩秋の陽ざしが、射しこんでいる。

写真の真中より、すこし上、やや左寄りに。農婦が二人、作業帽をかぶり、後姿を見せ、石垣に座り、山の麓の枯草を眺めながら、何やら話をしている。農婦二人の距離感が絶妙である。話の内容は、当然のことながら、写真を眺めている私たちには、わからないはずなのに、しばらくこの写真を前にしていると会話の内容が聞こえてくるような気がする。

農婦二人の距離が、これ以上、近付くと噂話にまつわる世間話でもしているのかも知れないという通俗的な思いが、かすかに浮かんでくる。

農婦二人の距離が、これ以上、離れると、おたがいの声が聞きとりにくくなり、会話は成り立たないことになる。

農婦二人の距離は、これ以上、近くても、これ以上、遠くても成り立たない。まさに絶妙の距離と言えよう。

会話の内容は、何ほどのことでもない日常茶飯事のごくありふれた事柄に違いない。おたがいに、ことばのやりとりをしているに過ぎない。心にわだかまりなど、微塵もない。ひねもす会話をしながら、心も体も慰められて行くのであろう。

この写真の主題をひとことばで言えば、「ゆったりした時間」ということになろう。

俳人 星野昌彦

山本宏務略歴

一九四一年、愛知県幸田町生まれ。一九六七年、山本宏務写真事務所設立。一九七〇年代より主に奥三河の民俗の記録をライフワークとして手がける。

一九七五年より写真集「黒沢田楽」「花まつり」「田峯田楽と地狂言」「黒倉田楽」「足神社の風まつり・田まつり」、一九九二年写真集「新城村芝居探訪記」、二〇〇五年「三遠南信歳時記」、二〇〇八年「三河・遠州御利益行脚」。

共著「神々の里の形」、二〇〇二年「花見頃」、二〇〇六年「飯田線百景」。日本写真家真協会会員、民俗芸能学会会員、豊川市在住。